

比女性10人介護職で来日

「特定技能」取得 大空で歓迎セレモニー

在留資格「特定技能」を取得して来日し、オホーツク地方などの特別養護老人ホームで介護職員として働くことになったフィリピン人女性10人の歓迎セレモニーが、24日に大空町で開かれた。

女性たちの年齢は20～23歳。勤務先は、JA北海道厚生連が経営または指定管理者の特別養護老人ホーム「ところ」(北見市)、「愛寿苑」(小清水町)、「摩周」(弟子屈町)の3施設となっている。

厚生連は、介護職場での人材不足に対応するため、外国人の介護人材教育などを行う企業「ONODER A USER RUN」(東京)に紹介を依頼。同社はフィリピンで、女性たちに約6か月間、介護の基礎や日

本語などを学んでもらった上で、北海道に送り出した。セレモニーでは厚生連の西川孝範副会長が、「皆さんのご活躍に大変、期待し

ています。介護を必要とする高齢者の方々と共にサポートしていきましょう」とあいさつした。

女性たちは、「すばらしい機会がありがとうございます」「介護福祉士になって日本で長く働きたい」などと、日本語で謝意や抱負を述べていた。

道 東

北見 網